係　　員

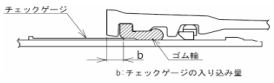
ＧＸ形継手 チェックシート（直管・Ｐ－Ｌink）

工事名称　　布設 ○○　年　月　日

測点 No.　　点検 ○○　年　月　日

管種・呼び径

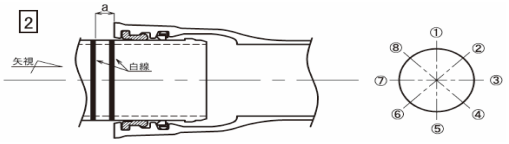
1 直管



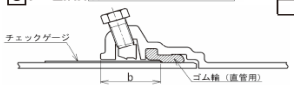
b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲(mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21
300	14～24
350	14～25
400	14～25
450	14～25

2



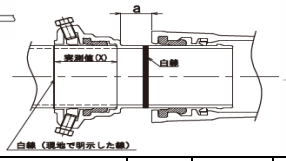
3 P-Link 締め付けトルク：100N･m



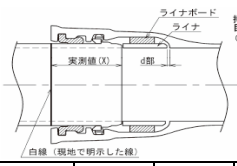
b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲(mm)
75	54～63
100	57～66
150	57～66
200	63～72
250	63～72
300	70～80

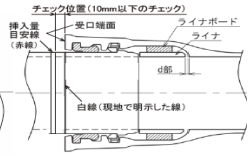
4 締め付けトルク：100N･m



5（直管挿し口を挿入する場合）



6（異形管挿し口、P-Linkを挿入する場合）



管　No								
管の種類								
略図／ﾗｲﾅ								
継　　手　No								―
挿し口突部の有無								―
清掃・異物の除去								―
ライナの位置確認（ｄ部）※１								5･6
受口溝（ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ）の確認								―
挿し口の挿入量明示								4･5
爪、押しボルトの確認（P-Link）								―
滑　　剤								―
マーキング（白線）位置の確認※２								4･5
挿入量目安栓（赤線）と受口端面間距離の確認（異形管挿し口）※３								6
マーキング（白線）の明示（異形管挿し口）※４								6
受口端面～ゴム輪間隔（ｂ）※５	全周チェック							1･3
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	⑧							
受口端面～白線（黄線）間隔（ａ）注）	①							2･4
	③							
	⑤							
	⑦							
押しボルト	本数							4
	ﾄﾙｸ確認							
判　　定								―

備　　考

現場代理人

判定基準：※１ ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
※２ 接合直後にマーキング（白線）位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
※３ 挿入量目安（赤線）と受口端面間距離が全周にわたり 10mm以下であるか確認する。
※４ 挿し口外周へ受口端面間距離が全周にわたり 10mm以下であるか確認する。
※５ 受口端面～ゴム輪間隔（ｂ）が表に示す範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
注） P-Link の場合は受口端面からの直部長さ 4a 寸法を記入する。

（注１）用紙寸法は日本工業規格Ａ４とする。
（注２）“○○”の部分は年号を記入する。